

【八重山の戦争マラリア】

第二次世界大戦中、八重山では住民がマラリアの流行地域へ移動させられ、多くの人が命を落としました。これを「戦争マラリア」といいます。戦争によって住民の生活や命が大きな被害を受けました。



くぬ世生まりていん
島に生まりりば
うりずんぬ嵐
語り継がな

作 2年 生徒

さとうきび畑の唄
ざわわ ざわわ ざわわ
広いさとうきび畑は
ざわわ ざわわ ざわわ
風が通りぬけるだけ
ざわわ ざわわ ざわわ
今日もみわたすかぎりに
緑の波がうねる
夏の陽ざしの中で
ざわわ ざわわ ざわわ
広いさとうきび畑は
ざわわ ざわわ ざわわ
ざわわ ざわわ ざわわ
風が通りぬけるだけ



月桃
六月二十三日待たず
月桃の花散りました
長い長い煙たなびく
ふるさとの夏
香れよ香れ 月桃の花
永久に咲く身の 花心
変わらぬ命 変わらぬ心
ふるさとの夏
ふるさとの夏



私たちは、戦争を自分ごととして考え、
実態を知ることが大切です。
また、不安な現代だからこそ、自分たち
で情報を集めて正しく判断し、平和的に
意見を伝えていく必要があります。一人
ひとりの行動が平和を守ることにつなが
ります。



2026年度 読谷高校
6.23平和特設授業

平和をうたう世界の今
～読高生が語り継ぐ戦後の沖縄～



6/12 (金)
読谷村文化センター
鳳ホール



プログラム

	No	題名
第一部	前座	平和の詩（朗読）
	1	開会宣言・黙とう・実行委員長あいさつ
	2	テーマとポスター紹介
	3	校長あいさつ
	4	知事より ビデオメッセージ
	5	合唱「いのちのリレー」
	6	図書委員スライド発表①「佐喜眞美術館で学んだこと」
	7	伝統劇「伝えたい思い」
	8	図書委員スライド発表②「読谷の戦後史」
第二部	9	創作ダンス
		休憩（10分）
	10	図書委員スライド発表③「核と沖縄」
	11	「艦砲め喰えーぬくさー」（朗読&三線）
	12	ダンス②（ダイナミック琉球）
	13	図書委員スライド発表④「八重山マラリアと読谷村」
	14	オリジナル劇「終わらない戦後」
	15	郷土芸能
	16	フィナーレ 非核・平和沖縄県宣言
	17	全体合唱「さとうきび畑・月桃」
	18	閉会宣言

【テーマに込めた思い】

このテーマは、平和を固定された意味ではなく、多様な視点から捉え直したいという思いを込めています。「うたう」をひらがなにすることで、表現の広がりや解釈の多様性を大切にしています。

「世界の今」には、過去だけでなく現在進行形の戦争や対立にも目を向ける必要があると考えています。

「戦後の沖縄」は、「戦後＝平和」とは言い切れない現実を見つめる重要な視点だと感じています。そして「読高生が語り継ぐ」によって、平和を自分たちの課題として受け止め、次の世代へつないでいきたいと考えています。

1



艦砲め喰えー残さー
 若さる時ねー 戦争の世
 若さる花ん咲ちゅーさん
 家元祖ん親兄弟ん
 艦砲射撃め的に的になてい
 着る物喰えー物むる無ーらん
 スーティーチャー喰でい暮らちゃんやー
 うんじゅん我んにん いやーん我んにん
 艦砲め喰えー残さー
 若い時は戦争の世の中
 若い花は咲くことができなかった
 家も祖先様も親兄弟も艦砲射撃の的になり
 着るものも食べるものも全くなかった
 ソテツを食べて暮らしていた
 あなたもわたしも
 君も僕も艦砲の食い残り
 艦砲の喰い残り残しのあなた
 艦砲の喰い残り残しの私
 沖縄で生き残った人は
 みんな艦砲の喰い残り

協力:琉球放送



「艦砲め喰えー残さー」の歌碑

私たちが生きている沖縄
 青い空、青い海が広がるこの島。
 81年前に広がっていた景色
 それは綺麗なものではなく、赤い海
 や黒い空だった。
 何十年、何百年と繋がってきた命
 巡り巡って生まれた命
 繋げていこうこの笑顔
 繋げていこうこの涙
 私たちがつくる平和の1ページ。

2



かつて沖縄には1300発もの核兵器があった

◆現存する唯一の「メースB」基地

沖縄戦後、アメリカの施政権下に置かれた沖縄。東西冷戦を背景にアメリカは、1961年から、核ミサイル「メースB」を8基ずつ配備する基地を県内4箇所（恩納村、読谷村、金武町、うるま市勝連）に建設しました。そのうち、唯一現存しているのが恩納村の沖縄研修道場です。

◆「戦争の基地」を「平和の発信地」に

沖縄研修道場は、1977年、アメリカ軍の核ミサイル「メースB」の発射基地跡を含む恩納村の丘地に開所しました。「基地の跡は永遠に残そう。」「人類は、かつて戦争という愚かなことをしたんだ」という、ひとつの証として、ミサイル発射台は負の遺産として、1984年に「世界平和の碑」へと生まれ変わりました。今日まで国内外から平和を望む多くの人々が訪れ、「平和を考える原点の場所」として、「生命尊厳」「不戦」のメッセージを発信しています。



発射口A 核ミサイル 「メースB」

3